

連担するハナレ

- レジリエンスを持つ新しい境界や残余地の在り方の提案 -

頻りに起きる災害からの制限や負荷による最低限の暮らしには、自分のことに手一杯になることで回復に対して受動的となり回復力を見せません。本提案では、そのような制限や負荷を緩和し、ゆとりある暮らしを営み人々に対して能動的に動けるようになることで回復力が生まれるレジリエンスな街を提案します。このレジリエンスを備えることで緊急時だけでなく、日常時の活動を拡張し居場所が多様化することで、魅力や活気の創出などの街の再編へと繋げていきます。

1 situation 在宅避難が発生している環境

複合的な災害により分散避難の手段としても一般化している在宅避難生活になる状況を想定します。ライフラインや商業店舗、学校の停止などが発生し活動が制限され生活様式の変更を強いられるだけでなく、限られた場所に留まるなどの負荷も出てきます。

3 problem 在宅避難の制限や負荷を受けやすい状態

部屋の狭く居場所の余地がないアパートが多い
白幡上町は戸建て住宅だけでなく、住環境が限られた狭い部屋のアパートが多く、在宅避難生活では居場所に多様性がない状態に常時制限を受けることが考えられます。

屋外空間のない密な宅地化
密に住地化されたため屋外空間のある住環境が少なく、戸建て住宅でも在宅避難では閉塞感を感じる暮らしとなってしまいます。

ソトとの関係が希薄な暮らし
住居内で完結させてしまう暮らしを生む住環境では、コミュニティの形成を育むことが難しくなり、緊急時における共助関係が働きにくくなってしまいます。

4 concept 連担し多様な生活様式を支えるハナレを持つ街

緊急時の制限された状態でも日常時でも居場所や活動に選択性を与え、豊かな暮らしが展開できるように街がハナレを持つ計画をします。ハナレは日常時から人々の活動を拡張し居場所を多様化するマルチファンクションな空間です。街の状態を改善していくと共に、緊急時でも連担することで生活の質を維持・向上します。

2 area 在宅避難が一般化する住宅街

対象敷地は横浜市神奈川区に位置する白幡上町です。この地区は、災害による被害があまり出ないと予測されているため、分散避難も考慮した在宅避難が一般化すると考えられる住宅街の一つです。

小さなアパート
閉じられた住宅

| リダンダンシー | リソースフルネス | ラビディティ | ロバストネス |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 活動場所の選択性が生まれるので、制限が働いても豊かな暮らしを続行できます。 | 日常時の利用も豊富であるハナレはこの街の生活にとって重要な資源となります。 | 日常的に使われることで、緊急時でも生活場所として活用する対応力が育ちます。 | 屋外で過ごすことが身につく、連担してできる共助関係は何時でも生活に愉しさを見出せます。 |

5 proposal 外構をハナレに変えていく

境界域や残余地に面している外構をハナレに変えていきます。日常利用のかたちと災害時に役立つ機能（水・電気・火）のかたちを融合させ、マルチファンクションとなるハナレのかたちを設計します。また、ハナレによって十字路や路上、袋小路や空地などの地域に存在する様々な場所の価値を更新していきます。

6 system CCPに繋がるハナレを介したネットワーク形成

ハナレは日常時には活動や居場所の交換になり、緊急時には水や火、電気などを交換する関係性を十人間に作り出します。また、集合住宅では大家や不動産屋が維持管理に絡み、地域資源となるポテンシャルに対するまちづくりにて自治体や横浜市の援助による関与もあり、住人から公共までのネットワークになるハナレコミュニティが誕生します。強固に日常的に繋がりを実感できるコミュニティは緊急時において情報共有や物資供給、役割分担などスムーズな共助関係を作ります。

7 Resilience Story 常時向上し続ける成長地区

在宅避難からの回復は、ライフラインの復旧や教育の再開など街の回復が絡んでいます。ハナレには、復旧の期間での制限や負荷を緩和させ、回復に対して住人が能動的に動けるようにし、街全体の回復期間を短縮できる効果があります。また、制限下においても活動や居場所に選択性を持ち続けられるしなやかさがあり、常時成長し続けるレジリエンスを持つことができます。

○ 日常利用のかたち × 機能（水・電気・火）のかたちから生まれる新しい場所の価値 ○ 日常時の連担する様子

| | |
|--|---|
| <h4>十字路</h4> <p>角にあるハナレが連担して大きなパブリックスペースとなり多世代の交流による活気が溢れる場所になります。</p> | <h4>路上</h4> <p>狭い道では向かい側のハナレと合わせり活動スペースを作ります。</p> |
| <h4>水 ミニアスレチック</h4> <p>貯水（雨水）</p> | <h4>電 ゲームポッド</h4> <p>蓄電（ソーラーパネル）</p> |
| <h4>電 憩いのサークルポート</h4> <p>蓄電（ソーラーパネル）</p> | <h4>電 野外シアター</h4> <p>蓄電（ソーラーパネル）</p> |
| <h4>電 キラキラロード</h4> <p>蓄電（ソーラーパネル）</p> | |
| <h4>袋小路</h4> <p>地域住民が積極的に活動を展開できる秘密基地的な場所になります。</p> | <h4>空地</h4> <p>グランピングや屋外オフィススポットとして活用され、住人にとって家でない長時間滞在する場所になります。</p> |
| <h4>水 もぎとり直売所</h4> <p>貯水（雨水）</p> | <h4>火 擁壁かまど</h4> |
| <h4>火 うねりキャンプ</h4> | <h4>電 オフィススポット</h4> <p>蓄電（ソーラーパネル）</p> |
| <h4>火 暖トンネル</h4> | |
| <h4>旗竿</h4> <p>私的領域の旗竿地の竿もハナレで地域に解放されることで住人同士の繋がりを作るコンスペースになります。</p> | <h4>擁壁</h4> <p>様々な高さで活動が展開できるため新しい風景が街に誕生します。</p> |
| <h4>水 井戸プール</h4> <p>貯水（雨水）</p> | <h4>水 ビオトープ水路</h4> <p>貯水（雨水）</p> |
| <h4>火 野外茶室</h4> | <h4>水 だんだん水畑</h4> <p>貯水（雨水）</p> |
| <h4>水 藤棚ミスト</h4> <p>貯水（井戸）</p> | |

キャンプ場では周囲の木々で薪を調達し、BBQが楽しめます。

落ち葉を燃やして焼き芋をします。

水路で手を洗ったり、ミニアスレチックでは子供が遊べます。

夜になるとイルミネーションや野外シアターを愉しめます。

ソーラーパネルを設置したサイクリングロードで自転車を充電できます。

自転車を充電している間に、デッキでくつろいだり雑談したり、焚き火のコーヒーが飲めます。

野菜を冷やしておいたり洗うことができます。

もぎとり直売所で野菜を収穫できます。

休憩時には、ビオトープ水路に生えたハーブで野外茶室を愉しめます。

ゲームの合間にミニアスレチックで遊べます。

オフィススポットで野外で仕事ができます。

ソーラーパネルを設置した屋根の下で、子供がゲームを遊べます。

手まわしコース（平面図 S=1/250）

○ 災害時の働き 給水車が来れない時には貯水された雨水や井戸水を多様な生活用水として活用できます。連担することで住民(2711人)の7日分(1日1人3L)の容量(56931L)を地域内で賄うことができます。

災害時でもハナレに行くで自分の好きな活動をするのができ、活の中に愉しさを見出せます。

日常時にオフィスとして使われる場所が災害時には掲示板の役割を担い、情報共有の場になります。吊るされた照明が街を照らす役割を担います。

災害時ガスが止まった時に焚き火で料理ができます。人々が集い情報を共有したり、暖を取りながら安らぐ場となります。

